

● 県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅に向けた取組の推進

施策目標（PLAN）

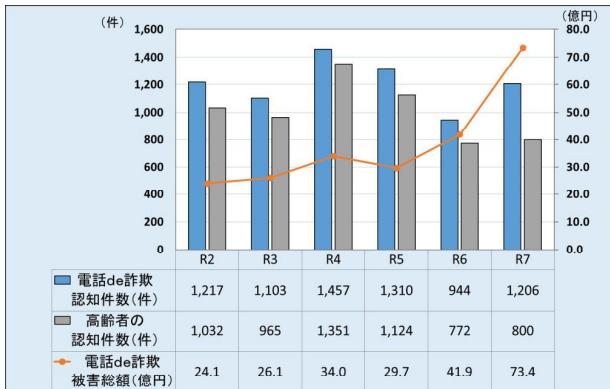
匿名・流動型犯罪グループの弱体化・壊滅に向けた取組の推進

実施項目（DO）

- 1 匿名・流動型犯罪グループによる犯罪の徹底検挙及び実態解明の推進
- 2 犯罪収益の剥奪に着目した捜査の推進

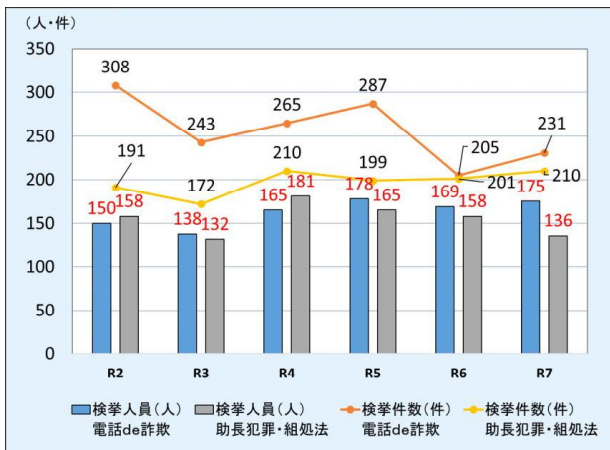
実績（成果）（CHECK）

- 1 令和7年中の主な取組の推進結果
 - 匿名・流動型犯罪グループによる広域強盗事件等の実行犯、指示役、中枢被疑者を検挙した。
 - 電話de詐欺で被疑者175人を検挙し、うち暴力団等については、34人であった。また、受け子、出し子等の実行役以外の上位被疑者として13人を検挙した。
 - 金融機関との連携協定を結び、情報提供により、電話de詐欺の検挙と抑止を図った。
- 2 電話de詐欺の認知状況及び検挙状況【令和7年中暫定値】



【電話de詐欺の認知状況】

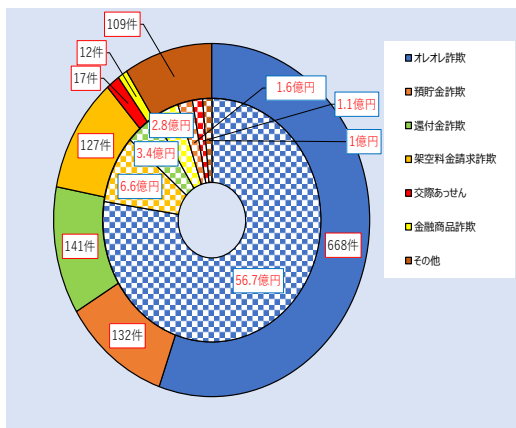
- ニセ警察詐欺等が大幅に増加
- 認知件数 1,206件
(前年比+262件、+27.8%)
- 被害総額 約73.4億円
(前年比+約31.4億円、+74.9%)
- 高齢者(65歳以上)の割合 約66%
800件(前年比+28件、+3.6%)



【電話de詐欺の検挙状況】

- 検挙状況
 - 人員175人、検挙件数231件
(前年比+6人、+26件)
 - 助長犯罪・組処法の検挙
人員136人、件数210件
(前年比-22人、+9件)
 - ※ 助長犯罪とは、口座の不正な取得、譲渡等、電話de詐欺を助長する犯罪をいう。
 - ※ 組処法とは、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」をいう。

3 令和7年中の電話de詐欺被害状況の分析【令和7年中暫定値】



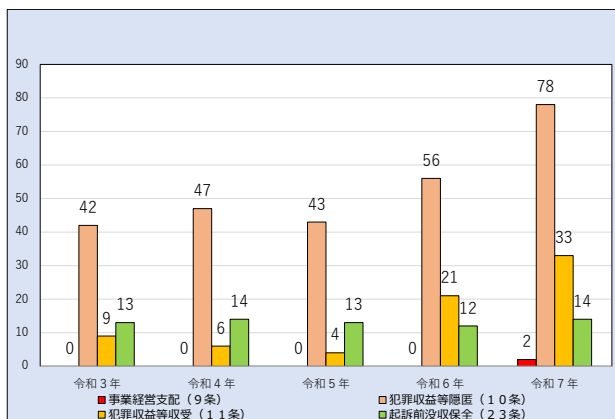
- 手口別認知件数上位
 - 1位 **オレオレ 668件(55.4%)**
 - 2位 還付金 141件(11.7%)
 - 3位 預貯金 132件(10.9%)
- 被害額上位 (額は約)
 - 1位 **オレオレ 56.7億円**
 - 2位 架空料金請求 6.6億円
 - 3位 還付金 3.4億円
- 1件当たりの平均被害額上位 (額は約)
 - 1位 **金融商品 2,320万円**
 - 2位 オレオレ 850万円
 - 3位 交際あっせん 630万円

※ ニセ警察詐欺はオレオレ詐欺に含まれる。

4 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況及び検挙状況【令和7年中暫定値】

- 認知件数 341件 (前年比+193件、+130.4%)
- **被害総額 約62.4億円** (前年比+34.5億円、+123.6%)
- 検挙状況 人員8人、件数8件 (前年比-2人、+1件)
- SNS型投資詐欺では、**SNS等に掲載されたバナー広告等をきっかけに被害に遭うものが被害全体の約6割を占める。**
SNS型ロマンス詐欺では、**SNSやマッチングアプリをきっかけに被害に遭うものが被害全体の約8割を占める。**

5 組織的犯罪処罰法の適用状況



【組織的犯罪処罰法の適用件数】

- 令和7年中の組織的犯罪処罰法に係るマネー・ローンダリング事犯については、**127件適用**した。

※ マネー・ローンダリング行為とは、犯罪行為で得た不正な収益を正当な取引で得た資金のように見せかける行為のことをいう。

今後の課題及び方針 (ACTION)

1 課題

- (1) 広域的に資金獲得活動を行う**中核的人物の実態解明及び検挙**
- (2) 「道具屋」等の中核的人物の下に構築された**違法なビジネスモデルの解体**

2 方針

- (1) 実行役及び助長犯の徹底検挙並びに多角的な取締りによる**突上げ捜査の徹底**
- (2) 新鮮かつ高度な**情報収集及び分析の徹底による実態解明の推進**